

先週の礼拝メッセージ(2022年11月13日) ベン牧師

「素直が一番」 マルコによる福音書 10:13-15

今日の箇所の話は、子供たちを祝福していただくこと、親たちがイエス様のもとに子供を連れていこうとしたときのことです。それを弟子たちが叱ったとあります。たぶん弟子たちは、多忙なイエス様のことを気遣ったことだったのでしょうか。しかしイエス様は、憤って弟子たちを叱ったとあります。イエス様は、「子供たちをわたしのところに來させなさい」とおっしゃり、さらに「妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」とおっしゃったのです。

親たちに連れてこられたとはいえ、子どもたちは、「イエス様のところに行くよ」ということを素直に喜んでいただいでしょう。現代社会では、子供はとても大切な存在として認識されていますが、イエス様の時代は、子供というのは価値がないと見られていました。弟子たちが子どもたちを叱ったのも、そういう考えがあったのかもしれませんが。彼らは初めから、子ども=価値がないというレッテルを貼ってしまい、それが彼らの言動となったのです。

そう考えると、私たちも他人に対して、あるいは自分に対してレッテルをすぐに貼ってしまうことがあるのではないのでしょうか。付け加えるなら、評価するということとレッテルを貼るということは違います。ましてや、自分に対してレッテルを貼ってしまえば、自分の人生を窮屈なものにしていることなのです。

イエス様は、どんな人と接するときにも、決してレッテルを貼りませんでした。子どもたちに価値がないと思われていた時代にも、子どもたちにレッテルを貼らず喜んで受け入れられました。あるいは、聖書で罪人と言われている人や取税人など、世の中で見下げられている人々と一緒に食事をなさいました。一人一人を大切な存在として受け入れてくださったのです。それは今も変わりません。私たち一人一人は、神様にとってとても大切な存在なのです。

ここでは、子どもたちは素直にイエス様のもとに行きました。そしてイエス様から祝福していただいたのです。イエス様を信じるというだけで、神様は私たちに救いを与えて下さると約束してくださいました。イエス様がおっしゃった「子供のよう」とはどういうことでしょうか。文字どおり、

素直さを指しています。私たちを愛し、大切に思って下さる神様は、私たちを十把一絡げではなく、一人一人を見ていて下さるのです。

その神様は、イエス様を信じるだけで救われるという条件を与えてくださいました。なぜ信じるだけなのか、それは、子供でも年配でも、貧しくても金持ちでも、健康でも病弱でも、知識豊富でも字が読めなくても、どんな人でも信じるということはできるからです。誰でもできる条件を、救いの条件として神様は与えられたのです。イエス様を素直に信じるなら救われると、神様は定められたのです。必要なのはそのことを素直に受け取ることです。

人間は罪を持っています。誰一人として純真無垢な人はいません。だからこそ神様は、ひとり子イエス様を十字架につけて、私たちの身代わりとしてくださったのです。そして、このお方を信じることで罪を赦してください、天国に行くことができると約束を与えてくださったのです。神様は約束を必ず守るお方です。

イエス様を信じることによるのみ、罪赦されるのです。神様は今も、あなたが心を開いてイエス様を心にお迎えするのを待っておられます。信じるという素直さが大切なのです。素直ということが神の祝福を受ける一番のものです。今日、素直な心をもって、神の祝福を受け取ろうではありませんか。

